

第4回総合計画審議会・第5回専門部会 意見集約結果・回答表

【意見①】 No.23 施策番号 3-3-2 施策名「高齢者福祉の充実」
意見：高齢者が免許返納する動機付けとなるような取組があると良い。 対応方針：②検討する 上記の「対応方針：②検討する」とありますが、去る 11 月 29 日町内にて高齢者による死亡事故が発生しており、これから団塊の世代が3～5年度に後期高齢者になることから、早急に具体的な対策を図るべきではないでしょうか。
【回答①】
認知機能や身体機能の低下が心配される高齢者については、家族やケアマネジャー等の関係機関と連携を図りながら、医療機関の受診勧奨を行っており、実際に運転免許証の返納に至った高齢者の方もいらっしゃいます。今後も状況に応じて、働きかけを行っていきます。

【意見②】 No.36 施策番号 4-2-3 施策名「道路交通環境の整備」
意見：MaaS の活用について、関係課で調整し進めてもらいたい。【意見②】No.36 施策番号 4-2-3 施策名「道路交通環境の整備」 対応方針：②検討する 上記の件、芽室町における MaaS の取組を具体的に示し、MaaS で何がどう変わるのかを明確にし、早急に対応すべきと考えますがいかがでしょうか。
【回答②】
高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段を確保するための方策として、MaaS を活用できないか検討する予定です。現在、取組内容について、民間事業者などと協議中であり、現段階でお示しできるものではありませんが、町として大きな課題であり、スピード感をもって取り組んでいきたいと考えています。

裏に続く

【意見③】 No.38 施策番号 4-3-2 施策名「廃棄物の抑制と適正な処理」

意見:ごみを減らすために住民の意識を上げる取組を行う必要がある。

対応方針:①対応する

上記の件①対応するに期待します。

更に、町内の「ごみステーションに出した」資源ごみの改修ですが、イエローステッカーの添付が多々見受けられます。どこのステーションが多いのか調査分析をしそれを公表し、住民のモラル向上を図る施策を要望いたします。

【回答③】

御意見のありました、いわゆる「ダメごみ」が多いごみステーションについて、公表をする考えはありません。

「ダメごみ」シールが貼られている不適切ごみについては、居住区から出されたダメごみもありますが、区域外に住む方がごみステーションに排出するダメごみもある状況です。

また、分別等を行っていただいているものの、自分自身のごみに「ダメごみ」が貼られないか敏感になっているという町民の方からの声も聞いています。

これらのことを考慮して、現時点においては地域全体の状況等を公表することに効果をもたらすとの考えには至っていないためです。

町としては、関係する町内会長やごみステーション近隣の住民世帯に、戸別にごみ排出の適正化に向けた対応を行う考えであり、今後においてもチラシを作成して戸別配付するなど、周知を行いながら、ごみの適正排出に向けて対応してまいります。